

医療法人財団 織本病院 広報誌



## 月刊 織本

9

2021年9月1日 vol.325

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002

東京都清瀬市旭が丘 1-261

TEL 042-491-2121

URL <https://orimoto-hp.com/>

発行人 高木 由利



オミナエシ（女郎花）

## 自分のできることを していきませんか？

理事長 高木 由利



オリンピックもパラリンピックも高校野球も予定通り開催され、がんばる力をたくさん頂きました。

\* \* \*

新型コロナウイルス感染拡大が報道され、政府はコロナ感染で頭がいっぱいになっています。感染縮小を果たさないまま、医学的根拠のない判断をせざるを得ない事態になっています。無理を強いられるのは私達医療機関だけではないと思いますが、やはり自分のできる個人個人の努力と節制が、地球を救うために不可欠なことだと思えるようになりました。全ての医療従事者は、日々感染の危機にさらされているからです。

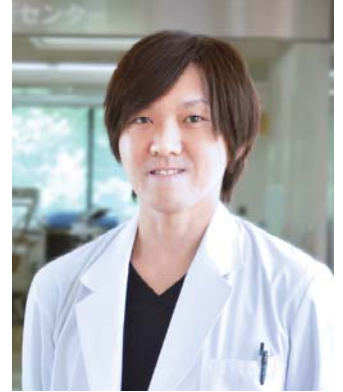
織本病院の医療の主体は、慢性疾患医療です。糖尿病、慢性腎不全、人工血液透析、心不全、脳梗塞、脳出血の患者さんが入院・外来の大多数を占めています。この患者さん達は、感染に対する抵抗力が極めて低い方が多く、例えばインフルエンザ感染を起こしても重症化し、時には生命の危機に陥ることがあります。私達、織本病院の医師を中心とする職員達は、この感染しやすい方々を最大限に守るため、まず自分が感染を受けないように細心の注意を払って日常生活を過ごし

ています。今回、厚生労働大臣と東京都知事から都内の全ての医療機関でコロナ感染を受け入れるようにとの要請が出されましたが、当院がもし、その要請に従った時、一体誰が今当院で診ている易感染性（感染しやすい状態）の多くの患者さん達の命の保証をしてくれるのでしょうか。私は、この安易な考え方には恐怖さえ感じています。私と同じ気持ちと考え方をしている医師は全国にたくさんいると思います。国民の生命を守るという国の考え方はとても大事なことです。コロナ感染者を受け入れることによる医療の危機は、国が守ってくれる訳ではありません。今回この要請が出されたことで、改めて当院の新型コロナウイルス感染症への対応について、感染対策のリーダーである藤木達雄院長が裏面で詳しく語ってくれていますので、是非お読みください。

私達医療従事者にとって、地球上の全ての人々の命は尊いものです。しかし、その尊さを守る判断は、国の命令でなく各医療機関の医師達に委ねられるべきことだと考えています。かけがえのない命を1人でも失いたくないからです。

# バスキュラーアクセスとは

やまざき ともたか  
腎臓内科 山崎 智貴



今年の1月より透析センターの勤務を始めさせて頂いております、山崎智貴と申します。専門分野は透析医療を含めた腎臓病、特にバスキュラーアクセスの診療を専門としております。今回このような貴重な機会を頂きましたので、私の専門でありますバスキュラーアクセスについてのお話をさせて頂こうと思います。

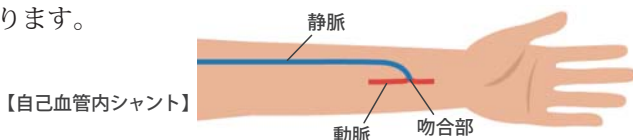
## バスキュラーアクセスとは

バスキュラーアクセスは、血液透析のための血液の出入り口のことをいいます。血液は血管外に出してしまうとご存知の通り凝固してしまいます。患者さまから血液を取り出して、血管外である透析の機械を通すためには、血液が凝固しないスピードで血液が流れる必要があります。しかし、一般的に採血している腕の静脈からでは透析に耐えるスピードで血液が採れない問題があります。さらに、動脈からは十分に血液が採れますが、動脈は体表には存在していないので、穿刺が難しいだけでなく止血することも困難です。このように何も手術をしない状態では透析を開始することが出来ません。

患者さまの中では、「バスキュラーアクセス」という言葉よりも「シャント」という言葉のほうが馴染みがあるかもしれませんが、シャントはバスキュラーアクセスの1つです。シャントは動脈と静脈をつなぐことで、動脈の血流が十分な点と静脈の浅くて穿刺止血をしやすい点を両方持つことができ、透析可能となります。

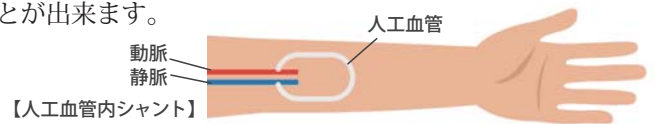
## 自己血管内シャント

シャントにも様々な種類があり、最も現在使用されているものが自分の動静脈をつなぎ合わせる自己血管内シャントです。自己血管内シャントは、開存率がよく感染が起こり難いなど最も優れたバスキュラーアクセスであり、透析されている方の約80～90%が使用しております。



## 人工血管内シャント

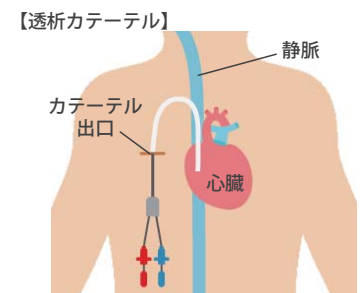
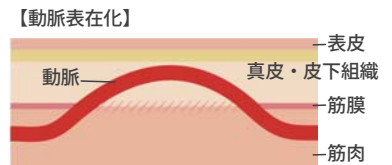
しかし、透析患者さまの高齢化や糖尿病性腎臓病の割合が増えてきて、自分の血管では内シャント作成不可能なケースが増えてきています。こういったケースでは人工の血管を使用して動脈と静脈をつなぐ、人工血管内シャントがあります。人工血管を使用することで、血管が細かったり深かったりしても、透析可能な血管を作ることが出来ます。



## 動脈表在化と透析カテーテル

このような動静脈をつなぐ「シャント」以外の、バスキュラーアクセスとして、動脈表在化や透析カテーテルが挙げられます。シャントを作成すると、心臓に戻っていく血液が増えて、心臓に負荷がかかってしまい、心機能の落ちた患者さまだと、シャント作成が急性の心不全の原因になる可能性もあります。このような場合には、動脈自体を深いところから体表近くに持っていく動脈表在化法が選択されます。ただし、この方法だと動脈には血液を返すことができないため、シャントではない普通の静脈にも穿刺が必要になってしまうデメリットがあります。

カテーテル法は、首や鼠径部にある太い静脈にカテーテルを挿入します。しかしカテーテルは、一度入れれば穿刺の必要性がなくなりますが、体表から血管内に異物が入った状態であり、通常2年以内には感染や閉塞で入れ替えが必要となってしまいます。



## バスキュラーアクセス手術へのおもい

バスキュラーアクセスの手術は、局所麻酔で行え1～2時間で終了するため、多くの診療科が関わっております。透析診療をしている腎臓内科、血管の手術をする血管外科、そのほか泌尿器科や移植外科などの多くの診療科で行われております。腎臓内科は外科技術の不足、血管外科は透析経験の不足などで、理想的なバスキュラーアクセスを作成している施設は大変限られているような気がします。透析が出来なければ透析患者さまは1週間程度で死亡してしまいます。バスキュラーアクセスは透析患者さまにとっては心臓と同じであり、安易に作られるものではないと私は感じております。そのため、私は理想的なバスキュラーアクセス作成をするため外科医に負けない外科技術を習得しようと、内科医でありながら東京女子医科大学病院腎臓外科や国際医療福祉大学熱海病院移植外科であえて外科での勤務を続けました。最初の半年間は内科医の私は、外科医の先生方からは全く相手にされず、ひたすら自分で糸結びの練習とブタの

血管を夜中まで縫い続ける日々を過ごしました。その後、陰ながらの努力が認められてか、徐々に執刀をさせて



頂けるようになり、初めての手術から今年で5年目でシャント手術を術者として300例以上、VAIVT（バスキュラーアクセス血管拡張術）を600例以上経験してきました。外科技術というのは、執刀してきた患者さまから得た技術であり大変貴重なものだと日々感じており、今後もバスキュラーアクセスの診療に全力で携わっていきたくと思っています。「シャント」のことで何かお困りのことがあれば、相談を頂けたら幸いです。

◎ 当院では、山崎医師による他施設からの透析患者様のバスキュラーアクセス手術も受託しております。詳しくは裏面をご覧ください。

ただいま

新病院建築プロジェクト コラムNo. 5

きよせ 旭が丘記念病院 建築中



雨の影響を受けましたが、MMB工法（マルチミキシングバケット工法）による地盤改良工事が無事終了しました。そしていよいよ基礎躯体工事が始まり、建物の形状がはっきりとしてきました。



2021年7月27日

2021年8月24日



作業する職人さんの人数が増え、場内は活気に満ちております!!  
大変ご迷惑をおかけ致しておりますが、引続き安全確保に十分な対策をして参りますので、ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。

## 当院の新型コロナウイルス感染症への対応について

院長 藤木 達雄



東京都知事の発表や報道等にもありますとおり、厚生労働大臣及び東京都知事より都内の全医療機関へ、新型コロナウイルス感染患者様の病床確保及び都が要請した施設への人材派遣の協力要請が出されました。しかし、巻頭で高木理事長が示したように、当院での新型コロナウイルス感染患者様の入院受け入れは行えない状況です。当院の診療の位置づけ、新築工事を行っていることも一因ですが、動線の確保が困難であることが大きな理由となります。このような事情を地域住民の皆様や関係各所にはご理解を頂きたいと思っております。

ただ、織本病院は医療崩壊が起きている現状に対し、何も行わない訳ではありません。出来ることはこれからも積極的に行って参ります。現在計画していることを以下に示します。

### 1. ワクチン接種

感染拡大を食い止めることが目的です。ワクチン供給が不安定だったため、下宿市民センター内体育館での集団接種は終了しましたが、日曜日に織本病院での接種を開始しました。今後も清瀬市と協議し接種枠を拡大します。

### 2. 清瀬市への協力

東京都から追加のワクチン供給があり、清瀬市もワクチン接種を独自に開始する計画です。開設・運営するための助言や協力、開設後は人材の派遣も行います。（11月には希望する全ての市民の接種を完了する計画です。）

### 3. 東京都への協力

東京都が運営している酸素ステーションへの医師派遣。

### 4. PCRセンターへの医師派遣

### 5. 新型コロナ感染症に対応している医療機関への協力

急性期を脱した、非コロナ感染患者の早期受け入れや当院で対応可能な救急患者の受け入れ。

上記以外にもできることがあるか検討しております。新型コロナウイルス感染症の早期終息を目指し努力して参ります。ご理解ご協力をお願い申し上げます。



## バスキュラーアクセス受託手術のご案内

当院では、専門医によるバスキュラーアクセス手術を行っております。当院の透析患者様の手術はもちろん、他施設にて透析治療を開始される患者様、また、現在他施設にて透析治療を受けられている患者様の手術も受託しております。詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

[https://orimoto-hp.com/vascular\\_access.html](https://orimoto-hp.com/vascular_access.html)

